

【令和5年度 和泉小学校 学校経営全体構想図】

令和5年4月1日
 狛江市立和泉小学校
 校長 鷲見 真太郎

令和5年度 学校教育目標

- かしこい子：考える力
- やさしい子：共感する力
- たくましい子：やり抜く力

東京都の教育目標

狛江市の教育目標

ベースとする児童の姿

よりよい自分であろうとし、前向きに生きる子

考える力

- 内発的動機付け
(学びに向かう力の育成)
- 自分の意思・考えをもつ
- 探究的な学びと思考
- 共栄・共存の意識

共感する力

- 自尊感情の向上
(自己有用感の向上)
- 居場所としての学校
- 多様性の受容
- 人権感覚・意識の醸成

やり抜く力

- 自治意識の育成
- メタ認知する力の育成
- 心身の健康(健康教育の充実)
- 変化に対応できる力の醸成
- レジリエンスの向上

自治を基盤にした市民教育 ～SDGs・特別活動・人権教育等～

- 理性的な対話の重視
- 自他の権利の尊重
- 自分たちに必要な考え、行動への気付き
- 社会の担い手としての意識

- 他と自己との調整力
- 異質な権利や考えの受容
- 多様性の受容
- 皆の役に立つ有用感
- 人権感覚・意識の習得

- 他を受け入れる柔軟性
- 自分たちの学校を作る意識
- 健康教育(食育含む)
- 自己の客観視(メタ認知)
- 自治意識

教育活動 ～学び手を主体として～ (何を教えたかより、どう成長したか)

- 本質的な問いから始まる、協働的な学び・・・同じ目的に向かう対話を通して課題を解決する
- 体験的・探究的な学習活動・・・地域の大人から学ぶ、地域に出て学ぶ
- 児童が主体となる特別活動・・・活動の意義から、委員会活動・係活動・行事等を考える
- 学びをつなぐカリキュラムマネジメント・・・子供の学びに合わせて柔軟に編成する
- 学年経営マップの児童との共有・・・学年一体で目標を共有し、成長を確認する
- 読書活動のさらなる充実・・・ビブリオバトル、読み聞かせ等、さまざまな取組で読書を推進する
- キャリアパスポートの整備・活用・・・学年を通した系統性から、自己の成長を把握する
- 自己指導能力を育成する生活指導・・・よりよい生活、あり方について、対話を通して自己決定する
- ICTの日常的な活用・・・学びに欠かせない学習道具として、正しく活用する
- 交流活動の充実・・・異学年交流、幼保中高との交流、地域との交流等をさらに進める

児童全員の居場所づくり ～学校生活の基盤として～

- 心理的安全性の確保・・・子供のありのままを受け入れる、いじめへの迅速な組織的対応
- WEBQUの積極的な活用(データの分析・比較と情報共有)・・・児童が支え合う学級集団づくり
- 外部機関との連携・・・チーム学校として外部機関も含めた一体的な対応
- 多様性を認める集団づくり・・・最上位目標を確認し、対話を通して解決

あるべき教師の姿

- 子供とともにある喜びをモチベーションに、よりよい教育を模索し続ける
- 自身の強みを理解し、それを指導に活かすために磨き続ける
- 子供の内面の、目に見えない部分を理解しようと努力し、ありのままを受け入れる
- 子供を大事にすることをベースに、保護者と連携し、信頼関係を構築する
- 危機意識を高くし、様々な状況を常に想定し、緊急時には迅速に対応する
- 学校は地域とともにあるということ意識し、願いや思いの共有に努める

地域とともにある学校

- コミュニティスクールの推進と充実
- 学校農園、地域カレンダーの活用
- 様々な手段での積極的な情報発信
- 地域行事への関わり
- ・親睦と教育への熱量の共有
- 幼保中高との連携(連続性を意識)

和泉小にかかわるすべての子供と大人のウェル・ビーイング向上